

退職者 NO.93  
**こだま会報**



# 高齢者の福祉・医療を壊す 消費税増税に反対しましょう



厚木神社の夏まつり (川瀬秀雄さんの作品)

## 目次

- ・ 総会報告……………①～⑤  
仲間と楽しくいきいき  
人生を / 生方代表挨拶  
 / 来賓挨拶 / 経過・決  
算・会計・監査報告 /  
方針 / 総会発言 / 物故  
者名 / 新役員紹介
- ・ せいかつ短信…⑥～⑬
- ・ 映画随想……………⑬
- ・ 趣味の会……………⑭  
歴史教室 (講座) / 手  
作り文化祭 / 予告
- ・ BOOK / 「原登ゼロ  
集会」……………⑮
- ・ こだま俳壇 / 薬膳料理  
……………⑯

## 神奈川県職労連退職者こだま会第27回定期総会 (6 / 22)

仲間と楽しくいきいき人生を

梅雨の晴れ間の6月22日、神奈川県職労連退職者こだま会は、「なかと楽しくいきいき人生を」と、横浜市開港記念会館で第27回定期総会を開き、50人余が参加しました。

総会は午後1時45分、副代表幹事の青沼慶祐さんの司会で開会。会員総数1、353人、開会時出席者46人、委任状630人で総会の成立を確認しました。

続いて、この1年間に亡くなられた21人の会員と東日本大震災で犠牲になられた多数の方々に黙とうをささげました。議長には片野憲二さんを選出し議事に入りました。

開会にあたって、生方武羅夫代表幹事は、東日本大震災後3カ月というのに復興が遅々として進んでいないことや、被災地の会員から生々しい「相馬レポート」が寄せられたこと、最



近になって「税と社会保障の一体改革」といって消費税増税が叫ばれていることなどを強調。「いま、政治によって国民生活が破壊されようとしている。国民生活向上の道は平坦ではないが、高齢期運動をいっそう強め、次の世代のために虹の架け橋をかけていきたい」と力強く挨拶しました。

来賓には神奈川県職労連副委員長の倉形洋一さんや横浜市従退職者会会長の森田謙一さん、中央労金横浜支店長の高橋恭一さん、全労済横浜支所長の高橋正則さんが列席され、連帯のあいさつをいただきました。

続いて、2010年度経過報告 (鳥居伸太郎事務局長)、同決算報告 (松尾佐知子幹事)、同監査報告 (木村武子監査) が提案され、それぞれ大きな拍手で承認されました。

(2面に続く)

### 生方代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の  
生方武羅夫さん

東日本大震災後、3カ月余も経ているが、復興は遅々として進んでいない。福島第一原発事故は憂慮すべき状況だ。『こだま会報』92号に会員の「相馬レポート」が載っ

を大幅にアップするなど、国民生活破壊方針が打ち出されている。戦後長い間かけて築きあげてきた道が、政治によって

を大幅にアップするなど、国民生活破壊方針が打ち出されている。戦後長い間かけて築きあげてきた道が、政治によって

を大幅にアップするなど、国民生活破壊方針が打ち出されている。戦後長い間かけて築きあげてきた道が、政治によって

### みんなでつくる「こだま会」運動を

東日本大震災後、3カ月余も経ているが、復興は遅々として進んでいない。福島第一原発事故は憂慮すべき状況だ。『こだま会報』92号に会員の「相馬レポート」が載っ

(1面より続く)  
また、2011年度運動方針案(山本文字子副代表幹事)、同予算案(鳥居伸太郎事務局長)、が提案され、参加者からは、6月の「年金改定」で大幅に支給額が引き下げられたことや現役職員の賃金カット、県政リストラと消費者行政の衰退、高齢者が自由に交流しあえる「サロン」の場の必要性などの意見が相次ぎ、議案を補強、承認しました。  
役員選考委員会の青沼慶祐さん(副代表幹事)が役員候補者名簿(任期2011年〜12年)を提案し、大きな拍手で承認しました。永年こだま会運動に貢献された生方武羅夫代表幹事や

加藤利秋副代表幹事のほか、田口清事務局長次長など8人が退任し、新たに加瀬文隆代表幹事など8人が選出され(5面参照)、活動の具体化にむけ、元気よくスタートしました。  
総会後は神奈川県自治会館に会場を移し、「はま風」で懇親会を開催。90歳を超える会員もかくしやくとした姿で参加されるなど、楽しく交流を深めました。



総会後は神奈川県自治会館に会場を移し、「はま風」で懇親会を開催。90歳を超える会員もかくしやくとした姿で参加されるなど、楽しく交流を深めました。

### 来賓あいさつ(要旨)



県民を守る県政を  
とりもどしたい  
神奈川県職労連副委員長・  
倉形洋一さん

県は節電対策の一環として、ランチタイムシフト(13時〜14時)をとることにした。これが原発依存からの脱却、脱原発を進めるための施策ならいいのだが、「原発は必要」との狙いもあるのではないか。データの検証が必要だ。職場では真っ暗ななかでの仕事を強いられている。労働安全衛生法と両立するとりくみをしている。

県産茶の85%が出荷停止になり、

県の役割が鋭く問われているが、県はこれまで出先機関を4割も削減し、県機関が脆弱化しているのが実情だ。震災時に県民をどう守るのか、自治体の役割を取り戻したい。11月開催の神奈川県自治体学校でも議論を深めたい。



孫子のために安心して生活ができる社会へ  
横浜市従退職者会会長・  
森田謙一さん

横浜市従退職者会が約1,300人であった頃、「こだま会」は1,000人ほどだった。今は市従が現状維持、「こだま会」は「増」で、すごいことだ。ホームページも立ち上げている。いろいろ勉強させていただきたい。

「戦争を知らない世代のために」とこの15年、私たちは市従と一緒に「平和のための戦争展」や核廃絶署名などをとりくんできた。大地震、原発事故を経験した。放射線に安全は一切ない。神奈川県には横須賀にアメリカの核艦船もある。自分たちができる運動をとりくもう。病气療養中の会員のお見舞いも続けている。孫子のために、安心して生活ができる社会にするために、できることを、これからも一緒に進めたい。

\* \* \*

ほかに、中央労働金庫横浜支店長

の高橋恭一さん、全労済横浜支部長の高橋正則さんが列席され、挨拶をいただきました。また神奈川県ユニオンアシユアランスの畑喜代司さんから、お祝いをいただきました。

### 各議案の提案

#### ●10年度経過報告(鳥居事務局長)

菅政権は、後期高齢者医療制度の当面存続を始め、普天間基地の辺野古移設強行政策、消費税の大増税政策などを進め、昨年7月の参議院選挙で大敗。衆議院と参議院の勢力がねじれる結果となりました。

その後、「政治とカネ」や相次ぐ選挙違反による議員辞職、議員16人の党派離脱、閣僚の辞任などが続き、国民の政治不信は一挙に広がりました。

3月11日、東日本を襲った大震災は、死者・行方不明者約2万人をこえる未曾有の災害となり、福島原発事故による放射能汚染は国民生活に大きな影響を残し、解決のめども立っていません。

4月10日投開票の県知事選挙では、自・民・公相乗りの黒岩祐治氏が当選。「脱原発」は示したものの、県政運営の基本政策は示しませんでした。

こだま会の主な事業では、「健康講座」や「手づくり文化祭」、



鳥居伸太郎さん (事務局長)



山本文子さん (副代表幹事)



松尾佐知子さん (幹事)



木村武子さん (会計監査)



会員の趣味や特技をいかし、楽しく交流を深める活動が定着しています。

#### ●10年度決算報告(松尾幹事)

収入の部では、年会費会員が92人、終身会員は22人加入しました。加入の伸び率が減少傾向にあります。支出の部では、戦中体験記『つたえたい思い』の刊行で、広報費が増えたことが主な特徴です。

#### ●10年度会計監査報告(木村監査)

帳簿等もしっかり管理され、適正に執行されていきました。経費削減の努力も認められます。

#### ●11年度運動方針(山本副代表幹事)

後期高齢者医療制度の継続やTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)

への参加問題など課題は山積です。「東日本大震災」の復興は遅々として進まず、福島原発事故による放射能汚染も深刻さを増しています。

神奈川県政は、正規職員を非正規に置き換えるなど職員を削減し、職場に労働強化とストレスの拡大、仕事の質の低下をもたらしています。

一方、後期高齢者医療制度の廃止や高齢者の医療費無料化をめざす運動は粘り強く進められ、公契約条例、住宅リフォーム制度など、様々な地域要求も実現しています。

会員の趣味を生かした活動、仲間づくりや交流の場をさらに多く設け、楽しい活動にしていきたい。「県職員九条の会」と連携し、憲法9条擁護の運動を進めます。消費税の引き上げには断固反対します。

「健康講座」や、趣味の会の活動など、会員の経験と知恵を生かして、元気よく運動を進めましょう。

#### ●11年度予算(鳥居事務局長)

前年度の実績をベースに組みました。収入では、年会費会員91人、終身会員20人を目標にしています。積立金は昨年より減少しています。

### 謹んでご冥福をお祈り申し上げます (順不同・2010年6月24日現在)

成田 功夫 様 72歳	大野知多夫 様 74歳	久保 寿尾 様 81歳
山下 貴美男 様 49歳	曾根 亀蔵 様 83歳	大谷 喜作 様 87歳
梅津 昇一 様 67歳	杉原 誠一 様 68歳	原田 松尾 様 84歳
荻部 清 様 72歳	小川 昭義 様 83歳	木戸 信夫 様 81歳
栗原 政治 様 86歳	松崎 敏英 様 80歳	鈴木 美子 様 73歳
塩澤 三郎 様 68歳	小山喜一郎 様 76歳	原口 明朗 様 81歳
遠藤 昇 様 84歳	高橋 温子 様 67歳	山田 竹雄 様 82歳

2010年6月から2011年5月までにご連絡のあった方で、それ以前に亡くなられた方も含みます。

参加者の発言・意見



石井紀男さん

「積立金会計」への繰入金について

額に端数の数字が書かれているが、何か特別の事情があるのだろうか。



鈴木三郎さん

「サロン」のよな場が必要

6月に地共済から「年金改正」

の通知が来て、見事に引かれていた。医療保険料や介護保険料、市民税など天引き額もすごい。現役も賃金カットされるなど、やり方がひどい。ますます経済に悪影響する。いま一人ひとりがんばらばらにされている。明るく楽しい「サロン」のような場が必要だ。誰もが自由に参加できて、3カ月に1回でもいいから、社会問題などを語り合う場としての懇談会を作って運動を広げたい。



新井通子さん

公契約条例制定運動について

公契約条例制定運動が進んでいるとあるが、市民生活にどういうメリットになるのかなどを教えてください。



稲本春雄さん

慶弔金の支払いについて

この1年間で21人の会員が亡くなられた。ご冥福をお祈りしたい。それぞれ慶弔金が支払われたが、支払われた額と人数の合計があつていないのではなにかと思う。ご説明を願いたい。



佐藤喜治さん

「歴史教室」を発展させたい

「歴史教室」は21年目になる。

発足当初は45人位だったが、いまは20人ほどで年4回、散策と講義をしている。講師の中村さんは高齢になられ、散策は難しくなっているが、これからも継続していきたいと思ふ。みなさんご参加をお待ちしています。



本山文子さん

消費者行政や歴史教科書問題について

消費者庁ができて、消費者行政が一元化したということ、消費者は期待している。しかしオレオレ詐欺などが横行し、高齢者被害も増えている。県は出先機関を削減し、「消費者行政は市町村の仕事だ」とばかりに予算も削っている。ある市



小島八重子さん

再任用の人にも加入呼びかけを

県庁で長年頑張ってきたいろいろな人の知識を生かす運動が大切。趣味も大事。「懇話会」などの場で話し合いたい。

県政のことでも、何かできることを具体化できればと思う。『県職労連新聞』に会員の声を載せてもらおうとか工夫したい。会員の拡大では、退職後5年間の再任用期間があるため、会員にならない人が多いのではないかと。再任用職員にも、加入を呼びかけよう。



発言・質問への回答

●全体的に

7人方からの熱のこもった発言に敬意を表したい。県庁には部局ごとの退職会がいくつかあるが、「こだま会」のように、方針をしっかりと掲げて討論をする団体は少ない。ご一緒に運動を前進させていきたい。

●繰入金の端数について

これは定期預金に入れるため、取り崩す時、利子が生じるため端数になる。

●「サロン」「懇話会」運動について

事務局は毎週火曜日の10時から16時まで、詰めている。この時、部屋が確保できれば「サロン」や「懇話会」の場は確保できると思う。発案者を中心に協力を募るなど進めてほしい。会としてのサポートは事前に相談していただきたい。会のホームページで紹介するなど、運動を広げることでもできると思う。

●公契約条例について

「公契約条例」とは、「公共事業の現場で働く全ての労働者に対して、賃金の最低基準額を条例により保証する」というもの。厳しい不況を背景として建設産業の賃金・下請け単価の切り下げが吹き荒れるなか、現場労働者に適正な賃金を確保しようとするもので、千葉県野田市が20

10年2月に初めて条例化し、川崎市が続いている。公契約条例制定運動は大きな広がりを見せている。

●慶弔金の支払いについて

こだま会の会計の締めが3月末日のため、実際の支払いとずれることがある。また、亡くなつて、連絡先が不明な場合や、ご辞退される遺族もある。いろいろ駆使して、ご遺族に連絡して確認できたところにお支払している。

●消費者行政・教科書問題等のチラシ配布について

それぞれのとりくみに敬意を表したい。消費者行政・教科書問題などに係るチラシ配布については、こだま会の運動方針に合致したものであること。チラシ持ち込みの可否は、毎月1回の4役事務局会議(原則第1火曜日)に諮って決めたい。発送物は当該者が必要部数用意してほしい。

●「歴史教室」について

長い運動の積み重ねに敬意を表したい。今後ぜひ継続して欲しい。「会」としても応援したい。

●専門性を生かしたとりくみ

長い間に培って来られた幅広い知識や専門性を生かした運動が展開されることを願っている。

●会員の拡大について

中途退職の方は加入できるし、再任用職員もちろん加入できる。該当者に声をかけ、加入を進めよう。

●2011・2012年度こだま会の新役員紹介

(敬称略・役職別・50音順)

役職	お名前	主な担当
代表幹事	加瀬 文隆(新)	全体の統括・ 神奈川県自治労連退職者会会長
副代表幹事	青沼 慶祐(再) 植木真理子(新) 山本 文子(再)	神奈川県自治労連退職者会事務局次長 健康づくり 平和担当
事務局長	鳥居伸太郎(再)	事務局の執行管理
事務局次長	酒井 道生(新) 鳥海 敏雄(再)	神奈川県自治労連退職者会会計監査 事務局・会報編集責任者
幹事	秋中 一允(再) 虻川 弘子(新) 飯塚 武弘(再) 一杉 雄二(新) 稲本 春雄(再) 井村 友彦(再) 川瀬 秀雄(再) 小島八重子(新) 高木 信幸(再) 平岡 孝弥(新) 松尾佐知子(再) 松本 正治(新) 本山 文子(再) 山本 裕(再)	事務局(総務) 会報編集委員 会報編集委員 文化・レク 文化・レク 農業を楽しむ会・こだま旬会 会報編集委員 ホームページ担当 ホームページ担当 事務局(総務) 事務局・会計・共済事務担当 文化・レク 文化・レク 神奈川県自治労連退職者会幹事
監査	木村 武子(再) 辻村 博(再)	会報編集委員 会計監査
相談役	生方武羅夫(新) 加藤 利秋(新)	相談役 相談役

●退任された幹事・相談役(敬称略)

代表幹事	生方武羅夫
副代表幹事	加藤 利秋
事務局次長	田口 清
幹事	雨宮 和雄・叶井 進一 小出 晴美・宮下 光
相談役	鈴木 三郎



新代表幹事に選ばれた加瀬文隆さん(左)

新役員紹介

皆さんよろしくお願ひします

今総会では、2年毎の役員改選が行われました。永年代表幹事を担われた生方武羅夫さんや副代表幹事の加藤利秋さん、事務局次長の田口清さんなど8人が退任(相談役含む)され、新たに8人の役員が選出されました(左表を参照)。楽しく豊かな「こだま会」をめざします。皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

●新代表幹事の加瀬文隆さんから  
3月11日の大震災、原発事故を巡る政治の混迷が続いていますが、国民の声は、7月12日の朝日新聞の世

論調査(「脱原発賛成」が77%)に見られるように、大きく変化しています。私も福島県の出身ですが、被災地の復興とこれからの日本の生活・経済活動のあり方が問われており、会としても、県職労連のとりくみに協力できたらと考えています。

今回は、幹事21人中8人が交替し、役員経験のない私が代表幹事ということで不安もいっぱいですが、会員の多くの皆さんが趣味の会、会の行事などに、何らかの形で参加できる運営心がけていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

定期総会への出欠葉書に寄せられた「短信」をお届けします。掲載者は150人。「こだま会」への要望をはじめ、元気で勤めの方やボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、本当に喜ばしい限りです。地域での高齢期運動や「9条の会」等での活躍の方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦労様」「総会の成功を」などの趣旨は、割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。

(敬称略)

## せいかつ短信

今年も相模メーデーに参加し、仲間と旧交を深めました。また、「第33回相模湖ダム追悼会」(7月31日予定)に向けて実行委員として参加しています。その会場の県立交流センターは、4月1日から「アクティオk」が指定管理者となりました。

(太田 顕)

八十路も半ば近い日々を、薬を友としながらも健康維持を考え、家族で食す季節の野菜作りを楽しみつつ、精出していきます。(岩田 近)

満87歳になるところ。今のところ健康で、どうにか俳句(こだま句会)



を続けられそうです。(佐藤安弘)

元気で。近所の仲間とグラウンドゴルフなどで、楽しく暮らしております。

(小林滋樹)

いつも『こだま会報』を読ませて頂いています。県職訓を退職してはや20年過ぎました。ゲートボールを楽しんで参りましたが、体力の限界を感じるようになってきました。毎日、庭先の植木と草花(君子蘭10鉢・アマリリス15鉢・孔雀サボテン10鉢・大輪菊等)の世話をして頑張っています。花の咲く時は見事です。

(河久保矩夫)

心臓のバイパス手術をして13年が過ぎました。毎日、介護生活で大変ですが、元気で頑張っています。

(小島信明)

おかげさまで、元気にすごしています。『こだま会報』を毎回楽しみています。そして神奈川を懐か

しく思い出します。

(上田豊子・富山県在住)

健康維持のため、地元市主催の「高齢者筋肉向上トレーニング」に参加して運動しています。しかし、80歳を過ぎるといささかきつい面もありますが…。

(花崎孝男)

毎回「歴史教室」に参加して、皆様と和気あいあいと楽しく勉強しています。今年も3月14日の予定でしたが、大地震で中止。残念です。東日本大震災で避難している子どもたちは、親と離れ集団生活。故郷に帰



れる日が待ち遠しくて心細いだろう。私にも孫がいる。毎日の新聞を見るのがつらい。自然の猛威とはいえ悔しい。無力が残念。でも前を見て進もう。この子らに幸あれと思うこのごろです。

(新倉仙太郎)

月日の経つのは早いもので、退職してから8年になろうとしている。週1回のテニスは続けていますが、年々筋力が衰え、以前は打てた

ショットがままならず、歯がゆいものです。人生に定年はないといえます。生涯現役をめざし、いま何をできるか模索中です。

(吉澤靖夫)

6月13日、「歴史教室」を受講させて頂きました。日々、郷土史の研究や古事記を中心とした日本の宗教思想、精神文化の研究などに励んでいます。また、時々好きなゴルフを楽しんでいます。

(金子信男)

平成21年秋、夫の亡き後は、病院との縁は切れ、昨年7月に検診にいっただけです。同居の末孫が3歳、この秋には曾孫が生まれ、近くにいるので賑やか続きです。週の4・5日は、いろいろ趣味、習い事に通い、後の日はボランティア、老人会等、介護見舞いで日々過ぎるのが早く、書くこと、縫うことが1日、また1日と残り、手足ののろさに悩む毎日です。犬も15年たちましたが、飼い主の私を引っ張るように、毎日元気で散歩しています。

(小川達子)

現在も元気に建築の仕事をしています。東日本大震災の影響で、建物補修等の物件が多くきて、毎日多忙な日々を送っています。(紺野 勇)

昨年5月、中国の大連の交通大学に短期留学しました。旅順が開港され、週末にはあちこちでかけ、多くの中国人と交流しました。また、瀋陽にも列車で2泊3日の旅をしまし

た。  
(加藤幸男)

退職して早くも15年が過ぎ、畑仕事とゴルフ、及び通院に毎日が過ぎしていきます。  
(鈴木敏昭)

『こだま会報』を楽しみに読んでいます。  
(曾我芳子)

『こだま会報』の「会員紹介」で、先輩の佐藤安弘さんの記事をつかしく拝読しました。「こだま俳壇」では、知人の上手な句を楽しく見えています。  
(田野倉一夫)

ジョギングはほぼ毎日続けていますが、少々ばて気味です。それにしても原発が、これほど人間がコンロートルでできないものだと。考えさせられます。  
(菊田 勲)

健康のため地域の老人クラブの活動や、グラウンドゴルフ、旅行と、毎日忙しく過ごしています。4月の鎌倉へのハイキング、用事が重なり参加できませんでしたが、次回に機会があれば参加したいと思っています。  
(天羽忠子)

つつがなく暮らしております。母の介護・生活支援で「単身赴任的」に島根に帰って2年半が経過しました。この6月からは妻と障害をもつ2人の子どもも引越してきて、中原家は「島根の人」となりました。神奈川県ではみなさんに大変お世話になり、感謝しています。来年からは15アールの田んぼでコメ作りもする

ことになり、準備にとりかかっています。地域活動、政治ボランティア、ジョギングなども細々と継続しています。  
(中原保彦)

散歩、読書、パソコンで、元気に過ごしております。  
(小島 工)

7回目のウサギの回り年で、ラッキーな年を期待していたのに、恐ろしい大災害の年になってしまいました。自分よりははるかに年長者が、各界で活躍されていることを励みにして、暗い世相でも何とか気力で生きたいと頑張っています。  
(田中和子)

午後の会議は犬(ゴールデンレトリバー13歳31kg)の散歩のため、ほとんど参加できません。山積の部屋を整理しているので  
(組合活動のまとめや個人史)、15冊・1042ページ(7年かけて)、まだまだ整理がつきません。  
(川井弘次)

退職して11年目。まだ元気に歩いています。  
(行谷愛子)

小生、後期高齢者の一歩手前になりましたが、まだ勤めております。職場は若い人が多いので、貴重なエネルギーを費やっています。居住する



新住人地区の自治会員も20数年過ぎ、高齢化から役員の80歳定年制導入が、今年の総会議案の一つに提出されました。高齢化問題が身近に迫り、今後の自治会活動の運営に支障を生じる恐れに悩む一人です。  
(増村一夫)

平成23年3月31日、再就職いたしました。まだまだ忙しい時期です。  
(鈴木陽子)

医療生協の健康推進委員として、いま健康をつくり守るために、どうしていかなければならぬかを学習しています。  
(島田多嘉子)

『こだま会報』を毎回楽しく読ませていただいています。緑内障の治療をする等、体調万全とは言えませんが、ボケ防止のへボ基も週2回(1回、2〜3時間)続けています。  
(石原健二)

年金暮らしです。週に1度、孫を保育園へ連れていくのが楽しみです。福島原発の放射線量を気にしながら、プランターで野菜をつくっています。エコ対策としてもゴーヤを植えてみました。今後が楽しみです。  
(小林平治)

日本オペラ界の第一人者、錦織健さんのコンサートに行っています。私事では数年前に脳梗塞で半身不随になり、移動には時々車椅子を使います。遠い場所でも、がんばって一人で行きます。  
(海老原文江)

新しい住居での生活に慣れて、元気でやっていますが、先日、お風呂場で滑って転んだりして、足が動かさなくなるくらい痛くなって、年齢を思い知らされる日々ですが、大事に至らず切り抜けました。何事も、前向きに考えて、明るくアンテナを高くして時代に遅れぬよう、1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。  
(鈴木志げ子)

2010年11月、イタリア旅行をしました。成田からローマの機内で、両手足が麻痺して、ローマ到着と同時に市内の病院に直行。18泊19日のイタリア病院入院体験ツアーになりました。直ぐ、ギランバレー症候群と診断され、入院日から治療が開始されました。集中治療室に7日間も入って、指一本身動き取れない状態で意思疎通が言語のみ。イタリア語も英語も駄目な私は参りました。失語症の方の気持ちかわかる体験でした。幸い後遺症もなく、回復しました。海外旅行には旅行保険をお忘れなく。  
(野澤秀子)

日本人の平均年齢も越え、満80歳

も過ぎました。M11.9、H11.15津波ショックと被害の恐ろしさを感じています。人が作った耐震基準とは、相模湾のM11.9、津波Hを考えて、三陸海岸、大津波、関東大震災記録を辿っています。(小笠原 勇)

東日本大震災から3カ月余りたちました。被災者の方々の復興への願いが1日も早く実現されるよう願っています。私は住み慣れた神奈川県から静岡県富士宮市に移りました。富士山が眼前にそびえ、気分は快適ですが、静岡県東部にも大地震があり、住宅に多数の被害ができました。我が家では地震と原発の話がつきません。先日、浜岡原発廃止の請願書の用紙が回ってきて、さっそく署名したところです。(佐藤榮一)

今回の東日本大震災の地震と津波は大脅威である。早い復旧・復興を願わずにはいられない。原発による放射能被害は300kmも離れた神奈川県でも、生茶葉・荒茶まで影響をうけたことに怒りがわく。すでに義援金を送っているが、他に何か協力できないかと思う。(塩沢徳夫)

平成18年より静岡に移り住んで、5年がたとうとしています。神奈川県との縁も断ちがたく、今でも『こだま旬会』へ投句をさせていただいています。なかなか進歩しませんが…。送られてくる『こだま会報』が楽し

みです。現在、ケア施設で介護のお手伝いをしています。(中村桂子)

『こだま会報』で皆さんの様子を知り、ご活躍の様子に、同じように楽しんでいきます。「料理教室」に何度かお誘いをいただきました。「歴史教室」の予告を見ると、興味ある教室に心が動きますが、まだ仕事をしていることと、社会福祉士として後見人の活動もしており、都合がなかなか合いません。合間を見て参加して

いきたいと思えますので、情報の発信、よろしくお願ひします。絵画も地元「平和美術展」や「サークル展」に出品しています。(宮澤恭子)

私が住む熱海市にも、東日本大震災で避難をしてい

る方たちが入居されています。ホテル街は夕方、かなり暗くならないと灯は点きません。ただ、山から下りてくる車のライトだけが、やけに明るく輝いて光っている。淋しい今の熱海。河津桜・熱海桜は今年、美しく咲きました。「ライフケア梅園」の中庭にある一本の大きな桜もまたしかりです。年老いた者が多いこの



館で、今年も桜を観る。テーブルと椅子をだし、お汁粉を作り食します。此処ばかりは皆、良いお顔をしておしゃべりをしてひとときを過ごします。「海風に花咲き舞う中庭で花見の席ははなやかな顔」(元木紀恵)

家庭菜園、博物館や公民館、大学の市民講座、県職労愛甲支部の手伝いと、結構忙しいです。昨年から、地元の「麻溝9条の会」(相模原市南区)に参加、平和の問題を中心に学んでいます。(阿部 豊)

退職して1年2カ月。仕事をしている日常から、仕事をしない日常になりました。いままで行けなかった16日間のスペイン旅行、4月はじめのイタリア旅行など、行ける時にとまって、旅を楽しんでいます。身体メンテナンスをしながら、生活のリズムをゆつくりつくつていきたいと思っています。(小松繁子)

今年も田舎の実家の留守番で、7月いっぱいまで単身赴任で旭川です。退職後9年があつという間に過ぎましたが、箱根町の森林づくりや整備をするためのお手伝いに週2回から3回出かけており、現役の時より時間が足りないような気がしています。(岡崎 明)

69歳になりました。毎日元気に三浦市役所で非常勤職員として、週4日滞納整理を指導・助言しています。(二ノ宮健志)

ただ今体調が思わしくなく、腰痛に悩んでおります。皆様にお会いしたいと思っておりますがお許しください。(湊 ふみ)

『こだま会報』は楽しく拝読させていただきます。地域活動にいろいろな団体に属しております。病院通いですが、元気でやっています。(稲垣和成)

地域の交通安全の団体に係ってしまい、「シートベルトの効用について」の講義を受けました。新聞を読むと、放射線量測定の数値は「シートベルト」だそうです。「ト」がないだけです。「シームレス」は女性の靴下に関係ある言葉、「シーボルト」はドイツのお医者さんの名前、「シーバスリーガル」はウイスキーの名前。私がよくわかるのは最後のこれだけです。東日本大震災、福島原発被災者の皆さんの苦勞を思うと、今宵も酒を、「シーバスリーガル」を飲まずにいられようか。(戸塚 忠)

今年で71歳になりました。まだまだ元気です。健康を第一に、野菜を中心とした料理づくりに専念してい

ます。地域で夜のパトロールと詩吟を楽しんでいます。(鹿郷真弘)

いつも『こだま会報』を楽しみにしています。体力は、少しはあちらこちら病んでいます。孫の面倒と趣味の民謡と花造りに、毎日忙しく動き回っています。(小澤ミネ子)

退職後16年目になりました。3つの囲碁クラブに入会し、週3回の囲碁三昧です。そのおかげで、仲間が50〜60人と、毎回コミュニケーションがとれ、楽しく過ごしています。OB・OGたちとも年に4〜5回、温泉旅行をして、若い気持ちを持続させています。(佐藤 弘)

元気に農作業、盆栽等、園芸作業を楽しんでいます。(登坂克男)

東日本の大震災、そして原発事故。未曾有の出来事に、メディアに、政府に振り回されている感あり。実家が福島県の伊達市とあって、友人からお見舞いやら問い合わせがあるが、昨年末、母を見送って後、親戚は老年者ばかりで、いままさら心配することもなし。相変わらず気儘に、元気に遊び呆けて、感謝しています。

(吉田綾子)

前立腺の進行ガンを告知されて、元気のうちにと忙しくしています。寿ドヤ街での生活保護ケースワーカーのアルバイト。ホームヘルパー2級養成講習の講師。視覚障害者の

誘導介助のボランティア。障害者自立支援法の障害程度区分の第2次審査員など。その間を縫ってジョギング、登山、ハイキング、水泳をしています。低山ですが、大山2回、弘法山2回、大野山1回、吾妻山(二宮)数10回登っています。(湯川 勉)



昨年の「手づくり文化祭」

ひまた、近くのハイキングを計画してください。(石川和善)

(田中一男)

元気です。(宮本四郎)

(相馬孝彦)

いつも『こだま会報』を送付いただきありがとうございます。なつかしく拝見しております。

たまには顔を出して、懐かしい顔を拝見したいのですが、妻が車椅子の生活で、遠くへは出られません。『こだま会報』は毎回、楽しく読まさせていただきます。(松本吉弘)

昨年の9月に肺炎で入院し、肺炎後、廃用症候群となり、リハビリテーションをするため、転院して治療に務めました。(山本秋徳)

共済年金と厚生年金が一緒になるのは反対です。一緒にならないよう頑張つてほしいのですが。(桜井るみ)

『こだま会報』で皆様のご活躍を知り、元気を少しいただきました。暗雲を少しずつでも払拭していきたいものです。(石川清子)

(矢部市太郎)

古文書講読会の仲間に入れてもらい、1年が過ぎました。何とか続けることができ、時代劇のDVDやTVをより面白く観ることができるようになりました。「さらし首江戸の刑罰うそじゃない死罪遠島古文書講読」(牧村正敏)

『こだま会報』が届くのを楽しみにしております。ありがとうございます。(手代木昭八)

毎日が平穏に過ぎていきます。三陸のことを考えるとボランティアに行きたいと思いますが、齢喜寿を過ぎると、かえって足手まといになるでしょう。(窪田 登)

横須賀で社会福祉法人「なないろ」を設立して、知的障がいの方の働く場「トライ」で(横須賀中央から徒歩8分、上町の文化会館入口の角)、フェアトレードのオーガニックコーヒーを出す喫茶店「ぬくもりカフェなないろ」を運営。障がいを持つ仲間たちの作ったクッキーやワッフルもあります。みなさんのご来店をお待ちしています。(藤田智栄子)

暑さが身に染みる季節になりました。いつも『こだま会報』をお送りいただき、楽しく拝読させていただいております。私も外が好きなので、適当に歩いたり、一寸遠くに行ったりと元気で日々を楽しんでいます。(船橋雅子)

定年後10年時の流れのなかで、いま福岡の地で日々を送っています。週3回は社交ダンスパーティーに行き、2時間20分のパーティーの中頃で10分ほど休憩をとる以外は踊り続け、汗を流しています。楽しく踊れ、それにより相手の笑顔が見られたときは元気が増す思いです。これからも楽しさとたくさんの方の笑顔を求め、そのために上達することも追いついていきたいと思っております。

地域社会貢献に努めています。自治会長として頑張っています。(原篠昭夫)

『こだま会報』で皆様の近況等、おもしろく読ませていただいています。一斉地方選で革新系は後退したようですが、私が当選してほしい人が7期連続当選しました。さて一服して、これからまた書・謡・白山への登山、バス旅行、映画の上映会、週2日の仕事、そして友達と飲み会など…。楽しく生きましよう。

(岸 靖之)

退職4年目を迎えました。毎日、健康管理に留意にして元気にしております。

(浅井照明)

最近、足腰弱く、軽運動をしているが、恢復の望みなし。老化の一途を辿る。土友会の囲碁大会と会合には杖をたよりに出席しているが、電車優先席にも座ることもできない悪い世の中になって、なげかわしい。県も国も給与削減と騒がれて、気の毒な時期に遭遇されたが、我慢すればまたよいこともあるでしょう。「外間には黙して語らず」です。

(安達義一)

毎年皆様とお会いできて、語り合えるのが楽しみです。(鈴木公彦)

『こだま会報』が届くのを楽しみにしています。読みやすく、元気にもらっています。(川田勝利)

85歳の県税OB税理士です。2011年度活動方針(案)Ⅱ活動目標3の中で(法律、税金:etc)と

掲げられています。及ばずながら老兵の私も協力しましょう。お気軽にご相談ください。(河野宗昭)

3月11日は、新宿初台でオペラを観ている時でした。舞台のセットは揺れ、照明はガラガラ音を立て、椅子から降り落とされるようでした。「帰宅難民」を経験。寒かったです。翌朝帰宅。室内の惨状には目をつぶり、トンボ返りで九段下のイタリア

文化会館

へ。トラエ

ッタ「スタ

ーバト・マ

ーテル」の

日本初演。

演奏に先立

ち、館長か

ら心のこも

った挨拶が

あり、犠牲

になった方々

に捧げられま

した。新

宿では建物の

被害で、利用

や文化活

動が中止され

ている所もあ

り、合唱

団の練習場に

影響ができて

います。耐

震工事のために

「リストラ」



健康講座 (10年11月19日)

しています。(鈴木定雄)

『こだま会報』楽しく拝見しております。特に「こだま俳壇」は興味深く、地元の句会でゴチゴチの頭の訓練をしています。(松村久代)

登山を楽しんでいます。坪山ではイワウチワ・ヒカゲツツジ、茅ヶ岳ではミツバツツジ・山ツツジ、花ばなど新緑に元気をもらっています。(豊田幸子)

(豊田幸子)

今年も趣味の菜園で30種の野菜の収穫があり、自作自食しています。天候など自然を相手にしているので害虫、雑草などで難しいこともあり

ますが、体力をカバーしてくれる耕運機、井戸ポンプ、草刈機などを新しくしたので乗り切れそうです。梅干し、梅酒、梅シロップ、ラッキョウ漬けなど作る予定です。畑には毎

回新しい発見もあり、自然と会話しながら毎日を過ごしています。今年も数組の外国の友人の来日希望があり、私も12月にはテキサス、フロリダ、イリノイなどに行けたら良いと思っ

(齋藤孝治)

ています。無事老境を過ごしておりますが、最近の急激な気温変化には体調が整わず閉口しております。(中澤祥浩)

(菅野明雄)

相変わらず元気でやっております。「歴史教室」は1990年に発足。前講師の荒井太郎会員(10年間教室

の柱)の逝去により、1999年、現講師中村猪一郎会員が引き継いで、今年9月で12年間、教室(講義・散策)は50回を迎える。継続は力(人生発表の場)なり! 会員の皆さん、どうぞ、ご自由に参加してみませんか。(佐藤喜治)

『こだま会報』など、いつも楽しみにしています。(星野玲子)

(星野玲子)

私老爺(91歳)の近況ですが、週1回市民会館で婆さんたちに混じって健康体操と称するものをやっております。おかげ様で壮健です。(宮手多助)

(宮手多助)

非常勤職員(週20時間)として頑張っています。(野村晴男)

(野村晴男)

引き続き、リハビリ診療中でありま

す。老齢のため遠くへの出かけは出来ません。『こだま会報』が楽しみです。(吉原重郎)

(吉原重郎)

毎日テレビニュースを見るたびに、怒りと涙が出ます。原発の発表には「本当はどうなんだ」と叫び、大震災で焼け野原になった三陸の町々は、涙なくしては見えない

ません。政府の対応の悪さにまたまた怒りが出てきます。(松本正治)

(松本正治)

元気で毎日過ごしております。パソコンは苦手なのに、必要に迫られて、地元の「九条しんぶん」を

(市川忠勝)

毎月3年近く発行してきました。最近、得意な人と交替して名簿の管理、宛名印刷、配達の仕分けを担当しています。300枚近くを17人の配達員で手配りし、若干を郵送しています。出来るようになると良いと思います。近くの文化センターの「デジタルクラブ」に入りました。これもイロハから分かつていなくて、苦勞しています。

(鳥居千珠子)

趣味の会、こだま句会で楽しませていただいています。「86歳からの挑戦」佐藤さんのような方、大歓迎。

(小川政則)

「時間(夜勤)と課題(様々な)に追われない生活」の仲間入り? をしたと思っただけですが、課題もいっぱい、時間も足りない。家事、料理の楽しさをもっと味わいた〜い。

(植木真理子)

この4月に再就職先を退社しました。自由な時間を利用して、旧東海道ウォーキングを始めました。

(山田経行)

『こだま会報』をいつもありがとうございます。大変なことです。被災者の方々には本当に大変なこと、言葉がありません。じわじわと、これから現実が見えてくるでしょう。お互いに助け合えたらと思います。

(酒井聡子)

相変わらず元気でスキー関係の団

体運営で頑張っております。今年のかだま会スキー(蔵王)へ参加できなくて残念でした。今年もまだまだ頑張れそうです。元気のみなものは、スキーと歌と毎日1時間のトレッキングだと思っております。

(榎本勝雄)

おかげ様にて、元気にして居ります。

(小林泰夫)



こだま句会の吟行(11年4月5日)

東日本大震災のため3〜4月に申込んでいた市民マラソン大会が4大会連続で自粛中止となり、参加費の一部は義援金として大会本部から寄付されました。これからは復興した被災地で開かれる大会に参加して支援したいと思っております。(渡辺雄之介)

(堀内 薫)

日々是好日。

(堀内 薫)

東日本大震災が起きて早や2ヶ月過ぎ、原発の恐ろしさは私の住む厚木市近辺の新茶が被害を受けて驚きました。節電に協力して社会生活の变革を期待する。趣味はゴルフですが昭和3年生まれ、ねばりも大分なぐなりミスも多くなり、これを補う

ためにウォーキングで頑張っています。

(佐藤 肇)

退職して2月弱、もう慣れました。少し、順応が早いです。(時田道幸)

歳相応に欠陥はありますが、元気です。

(小林文夫)

1991年から世界エスペラント大会に参加し始めて、昨年で20回目となりました。大会後に各地の遺跡を訪ね歩くうちに、歴史に関心をもつようになりました。特に古代の多神教から一神教の世界を経て、第二次世界大戦後の世界人権宣言までたどりついて、やっと人はみな同じ人類の一員だという考えが認められました。

しかし、それが実現するかどうかは今の世界の紛争を見ていると悲観するしかありません。ともかく、今は地震や原発の災害地の一日も早い復旧を願うばかりです。

(小山武衛士)

5月25日から29日、被災地・岩手県陸前高田市(生まれ故郷)へ行って来ました。自治労連が陸前高田に支援センターを設置して、当面7月31日まで活動しています。眼前に広がる瓦礫の原、現地の人たちは「ガンパッペ」と連日奮闘しています。支援の環を。

(片野憲二)

年金が、どんどん下がっていくので先々心配です。医者にお金がかか

り、どうにもならない状態です。高血圧、肝臓、心臓と膝痛には困っています。

(中村みき)

視力が落ちてしまい、出かけるのがおっくうです。

(家城レイ子)

『会報』を楽しく読ませて頂いています。私も参加したいな〜と思うばかり。浦安からは少し遠く感じますが、また、浦安も今回の地震の液化化で建物がやられ家が傾き、住めない所もあります。まだ下水道など使えない場所もあります。そんな状況です。

(小野寺トシ子)

大正琴とパークゴルフを楽しんでいます。

(小宮福太郎)

いま、年金者の会で楽しく遊び遊んでいます。

(白井りつ子)

東日本大震災のニュースを見、毎日胸を痛め、涙しております。戦前を思い、節電の生活を心掛けております。私も歳相応の膝痛と高血圧で通院、服薬中です。

(平能芳子)

難聴により、人前に出られなくなりました。

(宮本康之)

相変わらず、犬と猫の世話を柱に生活のリズムを保持することに注意しつつ、毎日を過しております。

(遠山 淳)

元気で生活して居ります。

(若林康信)

月、水、金と3回、ヘルパーさんに来てもらい助けてもらって、なん

とか生きています。感謝です。

(吉澤良美)

『こだま会報』をよく読んでいます。歴史教室の講座・散策とも興味深く楽しい感じです。(大竹 功)

今年は、世界中でいろいろなことがありました。日本でも未曾有の災害が発生しました。これからは、博愛と譲り合いの気持ちを大事にと思っています。(寺松正孝)

お蔭様で長生きしていますが、病院通いが多いです。(沢村清治)

東日本大震災・原発被害にあわれた、とくに高齢者の方々の苦しみを思うと心が痛みます。支援はもちろんです。私たちの暮らし方を見直すことが大切ではないでしょうか。私の住まいは30戸の古マンションで、高齢・一人暮らし世帯が増え、介護や災害時どうするかなど心配のタネが一杯です。私にできることは、できるだけし、支え合って生きていきたいと思っています。(千島ミツ子)

毎日曜日、鉄道模型(Nゲージ)の運転をして楽しんでます。(菊池秀行)

大震災、そして被災者の皆様の一日も早い生活の安定、そして復興、原発の収束を急ぎたいですね。毎日大変気になります。6月1日、鮎釣り解禁です。一年ぶりの恋人に会え

る思いです。お好きな方がいれば、連絡してほしいと思います。

(鈴木教天)

今年に入り、仕事や町内会のことや忙しい毎日です。仕事をやることに感謝です。しかし、教えるということは本当に大変です。4月から専門学校の講師を受けてしまい…。

(阿部毅正)



歴史教室「茨城県・古河めぐり」

いろいろな情報や、共に働いた方たちの近況など知ることができ、また頑張ろうという気持ちになります。

(石田啓子)

体力に自信がなく遠出ができなくなりしました。会報、公報なんでも読みあさっています。(松本洋子)

87歳になり横浜には行かれませんが、原発が早く静まるよう祈っています。(歌川安子)

緑の美しい良い季節になりました

ネ。昨年11月に体調を崩し、まだすっきりしません。(榎本恵美子)

(榎本恵美子)

会報を見るたびに過去のお手伝いや行事、集会等の参加を懐かしく思い出します。最近では後期高齢者扱いです。自分は若いつもりでいますが、80代になれば体が動いてくれません。今は町内会の仲間と月2回ハーモニカの同好会を始めました。家の玄関から会場までの往復です。外の道は思うように歩行はまだ無理ですから。今回の大震災で宮古市の友人にやと電話がかかり皆さん無事でした。安心しました。何かお手伝いと思いましたが、団体などの救援募金にできるだけ応援しています。一日も早い復興を祈ります。(明田剛一)

(明田剛一)

国難とも言うべき今回の東日本大震災・原発被害に立ち向かっている農民・漁民・中小業者・企業の方々やご家族に心からエールを送ります。また2万4000人にのぼる死者・行方不明者に哀悼の意を表します。こだま会の方々はすでに何らかの支援行動をされていると思います。退職者会として被災県OB会に総会の名においてカンパを送れないでしょうか(例えば1会員500円でもよい)。ご議論を提案します。私は余儀なく欠席しますが、振込先

を教えてください送金します。事務局には大変負担をおかけしますが、  
「団結と連帯を深めるために」

(日比野貞美)

ふるさとの大分県に転居して今年で10年目になります。神奈川県で仕事をさせて頂きたいいろいろの思いがなつかしく、時には元気のもとになっております。いつも情報ありがとうございます。(松村美知子)

(松村美知子)

今年も猛暑につき、皆様方のご自愛、ご健勝をお祈りいたします。小生、最近ではグラウンドゴルフに没頭し、市、並びに県大会をめざしています。(吉原 明)

(吉原 明)

出版社とトラブルあり、出版が滞っています。(鈴木良明)

(鈴木良明)

加齢とともに物忘れがひどくなつたようです。東日本大地震、原発事故では心身ともにショックを受けましたが、5月に書展の約束があり、何かと支えられ、無事過ごしております。(鶴田賀陽子)

(鶴田賀陽子)

軽い脳梗塞を患い、リハビリやデイサービスに行くことで、日々過ごしています。(穂坂輝夫)

(穂坂輝夫)

花粉症で悩みました。今も続いています。94歳の母の介護は辛いものがあります。施設に入っています。費用が高く、何を契約しようかとお金心配ばかりしています。愚痴を申してごめんさい。(今井洋子)

(今井洋子)

『こだま会報』、いつもありがとうございます。ございます。みなさんお元気ですか。私は、ピアノをこつこつと続けています。

(三宅杏子)

仲間にお会いしたいといつも考えておりますが、最近、体の不調で、市外の遠出は控えています。伊勢原市内では後援会、年金者組合はそれなりに活動しています。77歳になりました。少し畑仕事で気を休めながら縁に包まれ、体には楽園です。

(岩澤幸雄)

『こだま会報』などを楽しみにしております。

(金野さく)

### 7 映画随想

今年5月、東京国立博物館で開催された「写楽展」は国内外に残る作品を集めた空前の規模のものであった。黒雲母を背景に描かれる役者絵は魅力的で、多くの映画人を魅了した。

東洲齋写楽の版画が発表

されたのは寛政6年(1794)5月である。その後、僅か10カ月の間に150余りの作品を残して筆を折った。その後、日本では忘れられた存在であった写楽が一躍世界中に喧伝されるようになったのは、ドイツ人ユリウス・クルトの『SHARAKU』の出版による



ものであった。この本は、写楽の役者絵を初めて体系的に研究したものであった。

この本に接したロシアの映画監督エイゼンシュタインは、自著『映画の弁証法』で写楽の大首絵につ

## 幻の写楽映画

田中一男

いて多く言及し、その代表作『戦艦ボトムキン』における人物のクローズ・アップにも写楽の影響が見て取れる。

日本では、写楽の経歴が不明なところから「写楽別人説」が唱え

大和市の園芸相談員として月7日ほど勤めています。休日は地区の囲碁クラブで楽しんでいきます。

(桂 稔郎)

脳梗塞にて現在入院加療中です。

(石渡俊夫)

町内会(体操の会・うたう会等)への参加や合唱団(週1回練習)への参加、地域の「9条の会」等で、忙しい日々を何とか元気に過ごしています。

(六戸晏代)

退職後8年になりますが、元気にすごしております。

(古山忠男)

3月11日大地震のため、趣味で

られるようになった。これは別の

絵師が写楽の名で描いた、という

説で北斎、歌麿、十返舎一九等々

あまたの絵師が擬された。

戦前の日本映画界で小津安二郎

と並び活躍した内田吐夢も写楽に

魅せられたひとりである。満州映

画撮影所で終戦を迎えた吐夢は、

撮影所の図書館で写楽の画集に接

し、その迫力に衝撃を受け、この

謎の人物の映画化を夢見たとい

う。吐夢の抑留生活は永く、帰国

走っているほとんどのマラソン大会が中止となり、非常に残念に思っております。「10キロ・ハーフマラソン」。60歳代最後です。(木寺幸雄)

現在、リハビリ、体操等をして頑張っています。1日も早く良くなり、皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

(横山善助)

■次の、腰・膝痛などで体調不良の方々、お体の、やわらぎますようお願いしています。

長瀬昇さん、早川幸子さん、会川宮子さん、山口勇さん、小松克正さん、細江恒秋さん、越水悦子さん。

が叶ったのは昭和29年であった。

その後の吐夢は『大菩薩峠』や

『宮本武蔵』五部作や、最高傑作

と讃えられる『飢餓海峡』を発表

した。そして次回作として会社に

提案したのが写楽を主人公とした

企画であった。しかし、当時は任

侠路線の絶頂期で文芸路線など見

向きもされず、ほどなく吐夢も逝

去した。

「彗星の如く現れた写楽の傑作が、どうして、また、逆に次第に衰弱して、果ては当人まで蒸発してしまったのか？」が映画の骨子として遺している。映画化が実現されていれば、と実に残念である。

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室 (散策) (第50回)
  - テーマ 東京・雑司ヶ谷墓地と護国寺を訪ねる
  - とき 9月12日(月)
  - 集合 JR「横浜」駅(予定) 9時
  - 会費 500円(交通費別)
  - 講師 中村猪一郎会員(予定)
  - 申込先 こだま会事務所045(212)3179  
又は045(361)0112(佐藤喜治)
- 歴史教室 (講義) (第51回)
  - テーマ 滅びの美「平清盛」の死を見つめて
  - とき 11月14日(月)  
13時30分~15時30分
  - ところ 神奈川自治会館(予定)
  - 会費 無料
  - 講師 中村猪一郎会員(予定)
  - 申込先 こだま会事務所045(212)3179  
又は045(361)0112(佐藤喜治)
- 俳句教室
  - 月例会 (毎月第2木曜日13時~)
  - 9月8日(木) 10月13日(木)
  - ところ 神奈川自治会館又はこだま会事務所(予定)
  - 会費 無料
  - 指導 太田土男先生(現代俳句協会)
  - 会費 500円
  - 申込先 こだま会事務所045(212)3179  
又は井村友彦0463(81)4493
- 囲碁同好会
  - (会場を藤沢市内に変更しました)
  - 月例会 (毎月第1日曜日)
  - 場所 藤沢市
  - 申込先 こだま会事務所045(212)3179  
又は青沼慶祐045(782)7665
- 食文化を楽しむ会 (薬膳料理)
  - とき 11月中旬
  - ところ 横浜市健康福祉センター調理実習室 (JR桜木町駅前)
  - 先生 亀井禎子会員
  - 申込先 山本文子 03(3728)2227  
亀井禎子 045(332)4601

楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道

一緒に歩きましょう!!

第49回歴史教室 頼朝の旗上げと三浦氏の決意

第49回歴史教室(講座)は神奈川県自治会館で6月13日に開かれ、14人が参加しました。テーマは「頼朝の旗揚げと三浦氏の決意」。講師は中村猪一郎先生です。

〈講師のお話から〉

「頼朝の旗上げ」は先の見通しがあったものではなく、多分に危険性のある「一か八かの大勝負」であった。だから、後に鎌倉御家人になる連中も、二の足を踏む者も多かったのである。

この中で89歳の三浦義明は、二つ

返事で頼朝の片棒を担ぐことを承知した。なかなか血の気の多い元気な老人である。これには、子の三浦義澄の意見がかなりものを言っていると思う。



義澄はその直前に京都に行っており、鹿ヶ谷事件や源頼政の挙兵などに揺れ動く平家政権の様子をその目で見てきた。もう、その時は来てい

ると感じたのであろう。

頼朝挙兵の疑念はいくつかある。

その1は、流人という罪人の身でありながら、天下の政権と争うという戦いに、公然と立ち上がることができた。つまり、挙兵を可能にした流人の法的地位を考えたい。

その2に、伊豆という隔離された配所にあつて、遠い京都の政治・軍事・人心と、天下を争うだけの情報をどうして得たかということである。単に似仁王高倉宮の令旨だけでは、とても情勢判断はつかない。頼朝のネットワークがどうなっていたのかということである。

次に3として、兵力をどうして集めたのかということである。平氏全盛のもとで、監視の網をくぐってどう組織することができたのか、大きな疑問である。

手作り文化祭のご案内

—神奈川自治労連退職者会主催—

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を

とき: 10月下旬(予定)  
ところ: 横浜市従会館(桜木町下車)

搬入締切: 10月中旬までに  
「こだま会」事務所へ  
申込先: こだま会事務所 045(212)3179

4として、共同で戦う北条時政にだけだけの戦力が期待され、成算があったと、読みを持つことができたのかということである。

最後に5として、頼朝の展望・戦略である。平氏を徹底的に追い詰めて、源氏か平氏かという「一か八かの勝負」に出たのか。平氏との共存を考えて、源氏の一定支配を要求する条件闘争か——こうしたことも挙兵の根本に係る大事なことであるようだと、講師は結ばれた。(鈴木公彦)

# 「原発」を考える

## BOOK

東日本大震災のあと、原発事故により日本中が放射能被害にさらされていきます。テレビや新聞などの切れ切れの情報には、みんなとまどっているのではないのでしょうか。

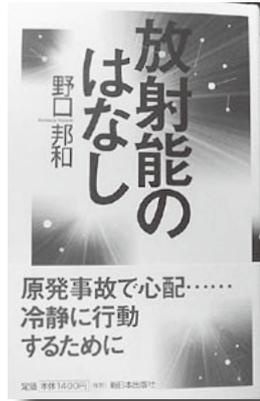
この問題の本となると、多くの本が出版されていますが、本当にお奨めする本となると大変です。というわけで、次の3冊を挙げてみます。

①『放射能そこが知りたい(改訂版)』(かもがわ出版)

見開き2頁に1項目を、読みやすくまとめている。62項目には、「体にあたった放射能は結局どうなるの?」「キュリー夫人は放射線障害で死んだ?」など、身近な放射能



安齋育郎著 かもがわ出版  
600円+税 2011年5月刊



野口邦和著 新日本出版社  
1400円+税 2011年5月刊



鎌田 慧著 青志社  
1050円(税込)2011年4月刊

についての疑問を分かり易く説いて面白。

②『放射能のはなし』(新日本出版社)

放射能の発見から、人体影響・防護の基礎知識、原発の放射線と放射能など、体系的に述べている。最後に、福島原発災害の危機と国民の安全に論及している。

「原発事故で心配:冷静に行動するため」の本と言えよう。

③『日本の原発危険地帯』(青志社)

全国各地の原発地域を取材したルポルタージュ。地域住民がいかにして原発を受け入れさせられたのか。反対運動が切りくずされてゆく様子がリアルに書かれている。

(木村武子)

## 集 会

# さよなら原発

「原発ゼロをめざす」

7・2緊急行動」に2万人

「原発ゼロをめざす」との一点で思いを共有した飯田哲也氏(環境エネルギー政策研究所所長)や野口邦和氏(日本大学専任講師)、湯川れい子氏(音楽評論家)ら10人のよびかけによる「原発ゼロをめざす緊急行動」が7月2日(土)、東京・明治公園で開かれ、2万の人で埋まりました。

会場では、被災地・福島への「さくらんぼ」

の販売や各地の原発反対の交流コーナーが設けられるなど、すごい熱気。午後1時からの集会では、「故郷



各地の「脱原発運動」を交流

をかえせ」「普通のくらしを返せ」「東電は原発被害の全面保障を」「足柄茶が飲みたい」など、被災地からの生々しい報告が相次ぎました。

集会終了後は2コースに分かれて、都内をパレード。「原発はまっぴらだ」「未来のため原発なくせ」など、デコレーションやプラカードを掲げて行進しました。

世界有数の地震大国である日本で、原発を存在させ続けることは困難です。原発ゼロをめざす国民合意を作り出し、政策として決定させ、着実に、計画的に、そして迅速に原子炉の廃止に向かうよう、政府、電力会社に迫りましょう。(鳥海敏雄)

